

エッ！ 駐輪場が地域の居場所に！？

地域活動を応援する

# 地域のわ通信

R4年9月  
NO.79

## 無料休憩所「ぺちやくちゃ亭」

あなたの身近なところに、使っているような、いないような気になる空きスペースはありませんか？

そんな空きスペースに目を留め、地域の居場所として活用したのが、多世代交流 無料休憩所「ぺちやくちゃ亭」です。

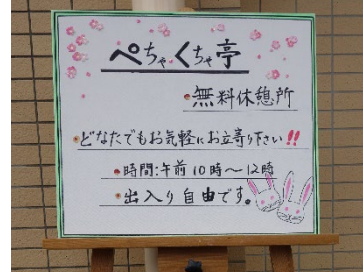
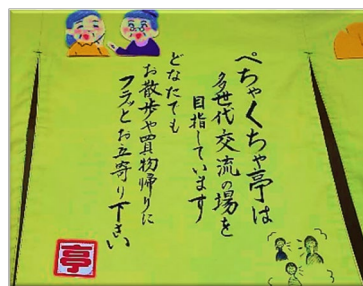
### ■駐輪場を地域に活かす！

片倉地区に住む鈴木さん（民生委員）は、数年前から片倉町駅近くにあるサービス付き高齢者住宅の駐輪場が気になっていました。前を通るたびに止まっている自転車はなく、ガランとしたままの広い空間を、何か地域で活かせないかとぼんやり考えていました。

そんな中、コロナの影響で人とのつながりが減った高齢者が元気を取り戻す場として、休憩所を開くことを思いつきました。「屋外なら室内ほど気にせず人と会えるのでは」と、この空きスペース活用のイメージが固まりました。



▲「ぺちやくちゃ亭」実行委員会のメンバーで片倉地区の民生委員さん（写真左・武菱さん、中央・大井川さん、右・鈴木さん）



▲「ぺちやくちゃ亭」は片倉町駅（市営地下鉄）から歩いて3分。



▲ 片倉町駅から三ツ沢方面に向かって、なだらかな坂。ちょっと一息入れたくなる場所に「ぺちやくちゃ亭」があります。

▲ 無機質なビルに地域の方お手製の「ぺちやくちゃ亭」の暖簾と看板が、やさしい雰囲気を作っています。

## ■地域づくり大学校と地域ケアプラザが つないだ「ぺちやくちゃ亭」

「アイデアを思いついても、コロナ禍の中、地域で新たな活動を始める踏ん切りがなかなかつかず、すぐ行動に移せなかったんです」と鈴木さん。そんな鈴木さんの背中を押したのは、片倉地区で一緒に活動する民生委員の仲間と片倉三枚地域ケアプラザの存在でした。

民生委員の仲間であり、神奈川区地域づくり大学校（\*以下、地域大）7期の卒業生でもある大井川さんと武菱さんは、『ぺちやくちゃ亭』の実現を地域大で公に発表しました。その行動が、鈴木さんの活動への一歩を踏み出す勇気を与えました。

また、片倉三枚地域ケアプラザのコーディネーターの安次嶺さんも、「鈴木さんの活動への思いが消えないように、継続的な声かけを心がけました」と、活動開始に向けて見守り続けたことを振り返ります。



◀地域の活動支援をしている片倉三枚地域ケアプラザの安次嶺生活支援コーディネーター

活動を始めるにあたっては、駐輪場のあるサービス付き高齢者住宅のマンションオーナーに相談し、駐輪場を交流の場として活用する許可（横浜市住宅供給公社へ要望書提出）を得ました。『ぺちやくちゃ亭』を開催する時は、駐輪場を無償で提供してもらっています。

発想から1年、地域の仲間たちの協力を得て、令和4年1月に、無料休憩所「ぺちやくちゃ亭」は、片倉町の新たな居場所としてスタートしました。



（\*）神奈川区地域づくり大学校  
地域活動を解決する手法を区内外の事例を交え、講義・グループワークなどから学び、対話を通して地域で行いたい活動を「アクションプラン」にまとめる地域づくりの場。

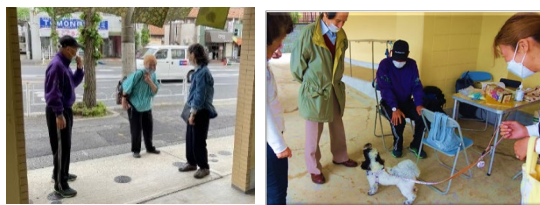
## ■地域の空きスペースの有効活用

『ぺちやくちゃ亭』は毎月1回2時間の開催です。おしゃべりをしたり、折り紙をしたり、ハンドマッサージを受けたりと、思い思いに自由な時間を過ごしています。訪れる人は、駐輪場上のマンションに住む人や地域の方々。普段は顔を合わせる事のない人同士の自然な交流が生まれています。

「回数を重ねるごとにテーブルが足りないほど利用者が増えています。今後は、地域の見守りや悩みを抱えている人を行政窓口につなげる場としても活用していければ」と、鈴木さんは先の活動も見据えています。

地域の空きスペースに気づいたことから始まったこの活動。活用しなければただの空きスペースが居場所として活用することで、街に変化を与えています。

地域を見渡すとまだまだ空きスペースは他にもありそうです。視点を変えて地域を見てみることで、神奈川区に新たな活動が生まれるかもしれません。



◀通りすがりの人がフラッと立ち寄り、談笑して帰ることも。



◀利用者に人気のハンドマッサージは地域大の卒業生が提供。これも卒業生同士のネットワークがあるからこそ。

### 「ぺちやくちゃ亭」の概要

主催者	「ぺちやくちゃ亭」実行委員会 (片倉地区民生委員の3人)
協力者	・片倉三枚地域ケアプラザ ・地域づくり大学校卒業生 ・地域の有志
開催日程 場所	日程 :第4木曜日 10時~12時 場所 :サービス付き高齢者住宅 「スクエアワン」駐輪場 (片倉1-23-29)
運営費	現在は特になし
参加費	無料 *コーヒー、日本茶などはフリー
参加対象	どなたでも参加可